

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業関係

(1) 「健康上十三 21 (第 2 次)」の推進について

上十三地域においては、「健康日本 21」「健康あおもり 21」を受け、早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、「栄養・食生活」「こころの健康づくり」「たばこ」「アルコール」に重点をおいた「健康上十三 21」を策定し、平成 14 年度より推進してきた。計画最終年の平成 24 年度に行った最終評価では、全体の 51%が目標達成、改善傾向となっている中、こころの健康づくりに課題が残っている。

「健康上十三 21 (第 2 次)」では、第 1 次計画の最終評価と当地域の課題を踏まえ、「自殺予防」の推進と「喫煙防止」「肥満予防」を柱とした生活習慣病予防対策を推進することとしている。

平成 30 年度は、過去 5 年間の取り組みを中間評価し、62 指標のうち全体の 51.6%が目標達成、改善傾向であったが、ほぼ半数が目標達成には届かない状況となった。達成していない指標に関しては、最終評価時に達成できるようにするとともに、今後は糖尿病対策を推進するための 3 指標を追加した 22 項目 65 指標をもとに最終評価に向けて「健康上十三 21 (第 2 次) 改定版に基づいて取り組んでいく。

(2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会や研修会、会議等を通して市町村計画への支援を行った。

(3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

全市町村の健康づくり推進協議会等の委員として保健所長が委嘱され、担当職員等と共に各市町村の推進協議会等へ出席し、市町村の健康課題及び対策について把握し、保健活動の推進に向け支援を行った。

市町村名	期 日	会 議 名	出 席 者
十和田市	開催なし		
三 沢 市	書面開催	健康推進対策協議会	
野 辺 地 町	令和 4 年 5 月 30 日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者
	令和 4 年 11 月 11 日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者
七 戸 町	令和 4 年 7 月 28 日	健康づくり推進協議会	
六 戸 町	令和 4 年 8 月 30 日	健康づくり推進協議会	
	令和 5 年 3 月 17 日	健康づくり推進協議会	
横 浜 町	令和 4 年 8 月 4 日	健康づくり推進協議会	
	令和 5 年 3 月 13 日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者
東 北 町	令和 4 年 10 月 17 日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者
六ヶ所村	令和 4 年 11 月 24 日	健康づくり推進協議会	次長、地区担当者

新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため、一部健康づくり推進協議会が中止・書面開催となった。

(4) 喫煙防止対策の推進について

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、「健康上十三 21 (第 2 次)」で重点的取り組みに位置付けている喫煙防止について、受動喫煙防止対策を推進するための研修会、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発及び空気クリーン施設等制度の登録を推進した。また、改正健康増進法(令和元年 7 月 1 日から部分施行、令和 2 年 4 月 1 日から全面施行)により、各施設での受動喫煙対策が義務となったことから、喫煙所の設置等受動喫煙防止に関する相談対応等により、普及啓発を行った。

ア 普及啓発（広報活動）

日時	場所	テーマ・内容	対象者 人数
令和4年 5月31日	上十三保健所、 十和田合同庁舎、七 戸庁舎	世界禁煙デーに関するポスター を掲示。	各庁舎職員、来庁者
令和4年 5月31日	上十三保健所、 十和田合同庁舎、七 戸庁舎	受動喫煙防止、禁煙、空気クリ ーン施設等に関するパンフレッ トをメール送信。	上北地域県民局職員
令和4年 5月31日 ～6月6日	十和田合同庁舎	世界禁煙デー、禁煙週間の周知 及び受動喫煙防止に関する館内 アナウンスを実施（1日2回）。	庁舎職員、来庁者
通年	飲食店	青森のおいしい健康応援店認定 事業 PR 時に空気クリーン施設 認定事業の PR を実施。	飲食店

改正健康増進法に係る普及啓発の取組としては、第一種及び第二種施設の相談対応・リーフレットの配布を実施した。

イ 『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』・『空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者等に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に「空気クリーン施設」の登録を促進した。また、平成29年度から本庁が実施している青森県健康経営認定制度により標記事業が促進されている。

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況 (令和5年3月末)

*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	12	10	44	42	21	0	63	0	33	1	5	41	272
三沢市	7	4	9	21	10	4	43	0	7	1	5	35	146
野辺地町	4	4	13	15	4	5	7	0	5	1	1	56	115
七戸町	6	6	16	13	4	7	16	0	3	0	9	0	80
六戸町	3	3	15	6	2	4	8	0	2	0	1	1	45
横浜町	2	5	5	4	4	1	3	0	3	0	1	0	28
東北町	5	0	15	4	3	0	10	0	3	2	1	0	43
六ヶ所村	1	0	16	2	1	0	29	0	1	0	0	5	55
合計	40	32	133	107	49	21	179	0	57	5	23	138	784

【*施設種別：1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所
8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー等の車輛】

*喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、禁煙のみとなった（分煙は認めず）。

*青森県のタクシーは、平成22年7月1日から全面禁煙となった。

(5) 糖尿病対策の推進について

糖尿病の早期発見、早期治療、発症予防、また、重症化予防の推進と、県民の健康意識向上を目的として、圏域の糖尿病に関する実態の把握と市町村の糖尿病性腎症重症化予防対策の更なる展開に向けた支援等を行った。

ア 糖尿病性腎症による新規透析導入患者のデータ収集（平成30年度から通年）

イ 市町村の糖尿病性腎症重症化予防プログラム作成に向けた支援（通年）：

ウ 上十三保健所管内糖尿病対策研修会開催

（第1回管内保健師連絡会議及び上十三保健所地域保健関係者職員研修会併催）：

期 日	場 所	内 容	参加者数
令和5年 1月26日	オンライン (Zoom)	(1)「青森県の糖尿病対策の取組」 がん・生活習慣病対策課 (2)「国保の糖尿病性腎症重症化予防の取組について」 高齢福祉保険課 (3)意見交換 「糖尿病性腎症重症化予防対策の更なる展開に向けて」	35名 (内訳：管内 市町村保健 師、栄養士、 事務職員)

(6) 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健康づくりの推進に役立てることを目的に研修会、役員会を実施した。

ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期 日	場 所	内 容	備考
1	令和4年 6月27日	オンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業実施報告及び終始決算報告について ・令和4年度事業実施計画（案）及び予算（案）について ・令和4年度合同研修会（案）について ・その他 	
2	令和5年 3月13日	市民交流プラ ザ 「トワーレ」	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業実施状況及び予算執行状況について ・令和5年度予算事業計画について ・令和5年度合同研修会について ・野辺地町保健協力員協議会について ・令和5年度役員改選について ・その他 	

イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会合同研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
令和4年 9月21日	中止	1 総会 令和3年度事業報告及び令和4年度活動計画 2 講演 ・「管内の自殺の現状・保健所の取組」 上十三保健所 健康増進課 ・「心の健康・自殺対策」 講師：心の駅・なるみ主宰カウンセラー みちのくエンカレッジの会代表 鳴海 敏之 氏	

ウ 管内市町村保健協力員数

(令和4年4月1日現在)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十和田市	186	六戸町	80
三沢市	101	横浜町	64
野辺地町	94	東北町	165
七戸町	79	六ヶ所村	57
		計	826

(7) 歯科保健事業関係

ア 親と子のよい歯のコンクール

例年、一般社団法人青森県歯科医師会との共催により健康な歯をもつ親と子を表彰し、歯科保健に対する幼児や父母及び地域社会の関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

イ その他

青森県口腔保健支援センターによる市町村支援事業に出席した。

期日	支援市町村	出席者
令和4年10月5日	十和田市	船渡主査、伊藤技師
令和4年11月18日	横浜町	佐藤主査

2 母子保健事業関係

(1) 療育相談（肢体不自由児等）

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を保健所内で年8回実施した。
(令和4年度)

市町村名	相談人員	再 掲		
		要治療	治療不要	経過観察
十和田市	17 (6)	3 (2)	3	11 (4)
三沢市	1		1	
野辺地町	2	1		1
七戸町	4 (1)		2	2 (1)
六戸町	0			
横浜町	1 (1)			1 (1)
東北町	0			
六ヶ所村	0			
管 外	0			
計	25 (8)	4 (2)	6	15 (6)

() は新規利用者再掲

(2) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児慢性特定疾患医療受診券交付時における面接や訪問、医療意見書により依頼があった児の状況把握等を行い、支援強化を図った。
(令和4年度)

事業内容	専門医による相談		保健師による相談指導		
	小児慢性 特定疾患	未 熟 児	家庭訪問	面接相談	電話相談
相談件数	0	0	5	3	9

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業（小児慢性特定疾病医療費助成事業）

長期にわたり療養を必要とする児童の健全育成を目的として対象疾病の治療にかかった費用の一部を公費によって助成するとともに、治療方法等の情報を今後の治療研究に活かすことを目的とした制度である。

(H27.1.1に法施行。旧事業：S49-H26 小児慢性特定疾患治療研究事業)

制度の見直しは継続的に行われており、令和3年11月現在、16疾患群788疾病（包括的病名を除く）が対象となっている。

ア 医療受給者証交付件数 156件（新規18件、継続136件、中核市からの転入2件）

イ 受給者数 143人 <うち2疾病認定者6人> (令和5年3月末)

疾患 NO	市町村別 疾患群名	合計	市町村別								ひまわり 手帳交付
			十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	
	合計	149 (19)	58 (6)	34 (5)	10 (2)	10 (2)	14 (4)	3	9	11	20
01	悪性新生物	19 (1)	7	4	1		4 (1)		2	1	1
02	慢性腎疾患	13	5	2	2	1		1	2		2
03	慢性呼吸器疾患	3 (2)	1			1 (1)	1 (1)				3
04	慢性心疾患	35 (4)	14 (3)	7	2	3	2 (1)	1	2	4	4
05	内分泌疾患	30	14	5	2	2	2		2	3	1
06	膠原病	7	1	3			2	1			1
07	糖尿病	7	3	3						1	2
08	先天性代謝異常	2		1			1				1
09	血液疾患	6	2	1		1	1			1	1
10	免疫疾患	0									
11	神経・筋疾患	17 (9)	6 (2)	7 (5)	1 (1)		1 (1)		1	1	3
12	慢性消化器疾患	6	3	1	1	1					
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	2 (2)	1 (1)			1 (1)					
14	皮膚疾患	1	1								1
15	骨系統疾患	0									
16	脈管系疾患	1 (1)			1 (1)						

※（ ）内は、重症、人工呼吸器装着者の人数を再掲

(4) 管内市町村妊婦連絡票実施状況

(令和4年度)

()は%

市町村名	妊娠届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B/A)	妊婦保健指導報告書発行数 C (C/B)	指導週数別					指導方法別				妊婦連絡票の提出はないが、 保健指導を実施した数 M (M/A)	要連絡・指導 妊産婦連絡票 受理数 N	内訳	
				～ 11週	12～ 19週	20～ 27週	28週 ～	産後	窓 口	訪 問	電 話	そ の 他			妊 婦 o (o/N)	産 婦 p (p/N)
				d (d/C)	e (e/C)	f (f/C)	g (g/C)	h (h/C)	i (i/C)	j (j/C)	k (k/C)	l (l/C)				
十和田市	276	275 (99.6)	275 (100.0)	249 (90.5)	25 (9.1)	0	1 (0.4)	0	275 (100.0)	0	0	0	2 (0.7)	41	5 (12.2)	36 (87.8)
三沢市	250	245 (98.0)	246 (100.4)	231 (93.9)	15 (6.1)	0	0	0	245 (100.0)	0	1 (0.4)	0	5 (2.0)	36	13 (36.1)	23 (63.9)
野辺地町	36	36 (100.0)	36 (100.0)	32 (88.9)	4 (11.1)	0	0	0	36 (100.0)	0	0	0	0	3	0 (0.0)	3 (100.0)
七戸町	47	46 (97.9)	47 (102.2)	42 (89.4)	4 (8.5)	0	0	1 (2.1)	47 (100.0)	0	0	0	1 (2.1)	8	1 (12.5)	7 (87.5)
六戸町	58	58 (100.0)	58 (100.0)	54 (93.1)	2 (3.4)	0	2 (3.4)	0	58 (100.0)	0	0	0	0	8	1 (12.5)	7 (87.5)
横浜町	18	18 (100.0)	18 (100.0)	18 (100.0)	0	0	0	0	18 (100.0)	0	0	0	0	9	4 (44.4)	5 (55.6)
東北町	78	78 (100.0)	78 (100.0)	69 (88.5)	7 (9.0)	2 (2.6)	0	0	78 (100.0)	0	0	0	0	10	1 (10.0)	9 (90.0)
六ヶ所村	59	59 (100.0)	59 (100.0)	56 (94.9)	3 (5.1)	0	0	0	57 (96.6)	0	2 (3.4)	0	0	9	5 (55.6)	4 (44.4)
計	822	815 (99.1)	817 (100.2)	751 (91.9)	60 (7.3)	2 (0.2)	3 (0.4)	1 (0.1)	814 (99.6)	0 (0.0)	3 (0.4)	0 (0.0)	8 (1.0)	124	30 (24.2)	94 (75.8)

(5) 管内市町村ハイリスク新生児情報共有システム実施状況

(令和4年度)

	低出生体重児数		ハイリスク新生児出生連絡票受理数	出生時体重					在胎週数			ハイリスク新生児訪問指導連絡票発行数
	未熟児養育医療申請数	児出生時体重		1000g未満	1000～1500g未満	1500～2000g未満	2000～2500g未満	2500g以上	妊娠22～34週未満	妊娠34～37週未満	妊娠37週以上	
十和田市	19	9	12	2	0	5	2	3	2	7	3	13
三沢市	17	9	13	0	0	3	8	2	1	5	7	19
野辺地町	3	1	4	0	0	0	3	1	0	2	2	7
七戸町	2	4	2	0	0	0	1	1	0	0	2	2
六戸町	2	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
横浜町	4	3	3	0	0	1	2	0	1	2	0	3
東北町	9	4	5	0	1	1	2	1	2	3	0	5
六ヶ所村	4	1	3	1	0	0	2	0	1	1	1	2
合計	60	33	43	3	2	10	20	8	8	20	15	51

(6) 母子保健ネットワーク会議等 —妊産婦支援体制整備事業—

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点から、地域養育支援体制の整備を推進している。

ア 母子保健ネットワーク会議

会議開催を予定し、関係機関に事前に情報共有したい内容等についてアンケートを実施し、オンライン（ZOOM）、一部参集によるハイブリット方式で開催した。

期 日	場 所	参加者	内 容
令和5年 3月3日	オンライン (Zoom)、一 部参集(十和 田市文化セン ター)による ハイブリット 方式	・管内8市町村母子保 健担当者	○情報提供 ・妊婦連絡票からみる管内の状況について ○意見交換 ・市町村のメンタルヘルス不調を抱える妊婦へ の支援体制について

イ 令和4年度市町村開催会議への支援

期日	場所	内容
令和5年 2月27日	十和田市保健センター	令和4年度第2回十和田市妊産婦支援連携推進 協議会

(7) 産後うつ病の予防対策推進事業 —妊産婦支援体制整備事業—

当圏域の関係機関連携における課題や今後の取り組み等について協議、検討を行い、また、上十三地域の妊産婦及び乳幼児への切れ目ない支援を推進するため意見交換を実施する事で、市町村母子保健関係者等の虐待予防も視野に入れたハイリスク妊産婦等への支援に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

母子保健ネットワーク会議と併催し、アンケート調査・聞き取りによる調査にて各市町村と医療機関でのEPDS実施状況について把握した。

イ EPDS等(虐待例)妊産婦のカンファレンス

※市町村でカンファレンスを実施するなど対応しており、保健所への相談件数はなかった。

(8) 乳幼児の虐待予防に関すること

市町村からの求めにより出席し、虐待予防に係る保健所の取組みや子育て世代包括支援センター等に関する情報提供を行った。

ア 市町村要保護児童対策協議会への出席

市町村名	代表者会議	出席者
十和田市	令和4年5月25日	健康増進課長
三沢市	令和4年5月24日	健康増進課長
野辺地町	令和4年6月30日	健康増進課長
横浜町	令和4年7月14日	健康増進課長
六ヶ所村	令和4年7月7日	健康増進課長

(9) 女性健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日：随時

(イ) 担当者：保健師

相談件数	随時相談 実人員	0名 (延0件)
	電話相談 実人員	3名 (延3件)
相談内容	思春期女子の健康相談 件	0
	妊娠、避妊に関する相談 件	0件
	不妊に関する相談 件	2
	婦人科疾患、更年期障害に関する相談 件	0件
	メンタルケア 件	1
	その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談	0件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請 33件 (実人員33名)

(令和4年度)

	合計	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
申請件数	33	8	12	3	1	2	1	4	2
実人員数	33	8	12	3	1	2	1	4	2
新規	11	2	3	1	1	0	0	3	1
	継続	22	6	9	2	0	2	1	1

(イ) 不妊専門相談センター利用者 0名

3 栄養改善指導事業関係

(1) 給食施設栄養管理指導事業

喫食者の健康増進を図ることを目的に給食施設を巡回し、施設における栄養管理状況の把握及び助言・指導等を実施した。子どもの肥満が課題となっていることから、子どもに給食を提供する施設を対象とした。また、感染予防を考慮し巡回時に利用者との接触がない施設（学校給食センター）に対して実施した。また、給食施設の栄養管理担当者、調理従事者のスキルアップを図るため、管理栄養士、栄養士、調理師等を対象に開催している研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応により紙面開催とした。

ア 巡回指導

	特定給食施設		特定多数人に対して継続して食事を供給する施設				計		総計
			1回あたり50食以上提供する施設		1回あたり50食未満提供する施設				
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
巡回施設数	6	0	0	0	0	0	6	0	6
対象給食施設数	38	4	63	14			101	18	119

イ 研修会

期 日	場 所	参加者数	内 容
令和5年3月	紙面開催	管内給食施設119施設に送付	<ul style="list-style-type: none"> 日本食品標準成分表2020年度版（八訂）について 給食施設における栄養管理状況しらべ集計結果について 特定給食施設等栄養管理報告書について

(2) 栄養成分表示、虚偽誇大表示に関する指導

ア 栄養成分及び健康の保持増進に係る表示指導

食品の栄養成分及び健康の保持増進に係る表示について、事業者等に対し相談及び指導を実施した。

相談：18、指導：2件

(3) 食生活改善推進員の育成

管内食生活改善推進委員会の活動を支援し、組織の育成を図った。

ア 役員会・会長会議等

会議名	場 所	回数
監査会	十和田合同庁舎 2階会議室	1回
管内市町村会長会議	十和田合同庁舎 2階会議室 小川原湖青年の家	計3回

イ 総会・研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修会を行わず、書面による総会を行った。

ウ 管内市町村食生活改善推進員数 (令和5年2月28日現在)

市町村名	会 員 数	市町村名	会 員 数
十和田市	138名	六戸町	24名
三沢市	79名	横浜町	24名
野辺地町	30名	東北町	48名
七戸町	18名	六ヶ所村	34名
		計	395名

(4) 市町村栄養改善業務支援事業

管内市町村管理栄養士のスキルアップを目的に会議と研修会を開催した。

期 日	場 所	参加者数	内 容
令和4年 11月28日	上十三保健所 (オンライン開催)	10名	① 連絡調整会議 ・食育推進計画について ・青森県行政栄養士の人材育成指針・公衆栄養活動プログラムについて ・意見交換 栄養関係事業について ② 研修会 市町村における栄養改善の取組の事例紹介 ・食生活改善推進員養成講座について 十和田市 ・幼児、学童を対象とした食育事業について 三沢市 ・糖尿病等生活習慣病予防に係る取組について 七戸町

(5) 青森のおいしい健康応援店認定事業

県民が外食等を利用する際に自分にあった適切なメニューを選択できるよう、肥満予防や食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加を踏まえた食事を提供している飲食店等を青森のおいしい健康応援店として認定しており、事業の周知と管内認定店の紹介のためチラシを作成した。チラシを活用し、18店舗に訪問勧奨、4店舗からの新規申請を受けた。(認定店総数66店)

(6) 食育の推進

ア 普及啓発

完全義務化となった食品の栄養成分表示により、エネルギーや食塩相当量の含有量が表示されるようになったことから、食品を摂取する際の参考となるよう、栄養成分表示の見方等普及啓発した。

イ 上北地域食育ネットワーク協議会研修会への参加

日時 令和4年12月13日(火)

会場 十和田おいらせ農業協同組合本店（3階大会議室）

出席者 上十三保健所 健康増進課 船渡めぐみ

4 精神保健福祉関係

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市町村別・入院通院状況

(令和4年度)

医療区分 市町村名	入 院					通 院
	小 計	措 置 入 院	医療保 護入院	その他		
十和田市	男	72	3	69		1,345
	女	106	2	104		
	計	178	5	173		
三沢市	男	24	3	21		696
	女	35	1	34		
	計	59	4	55		
野辺地町	男	19		19		191
	女	20		20		
	計	39		39		
七戸町	男	28		28		237
	女	28		28		
	計	56		56		
六戸町	男	22		22		184
	女	15		15		
	計	37		37		
横浜町	男	6		6		68
	女	6		6		
	計	12		12		
東北町	男	17		17		321
	女	15	1	14		
	計	32	1	31		
六ヶ所村	男	6		6		139
	女	6		6		
	計	12		12		
管 外	男	2		2		0
	女	2	1	1		
	計	4	1	3		
合 計	男	196	6	190		3,181
	女	233	5	228		
	計	429	11	418	0	

イ 精神障害者申請等処理状況

(令和4年度)

申請等別			指定医に よる診察 件数	措置	非措置	非措置者の状況	
申請	通報	計				入院	非入院
0	17	17	12	11	1	0	1

ウ 管内精神病院入院状況 (令和5年3月末)

医療機関名	精神総病床数	年度末現在入院患者数			
		合計	任意	医保	措置
十和田市立中央病院	50	21	17	4	0
十和田済誠会病院	250	185	109	76	0
高松病院	239	237	21	216	
三沢聖心会病院	140	63	55	8	
計	679	506	202	304	0

エ 精神科救急医療システム利用状況 (利用者の住所別) (令和4年度)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	県外	不明	計
25	8	2	4	5	0	3	0	4	2	3	56

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数 (令和5年3月末)

	手帳所持者総数	手帳所持者等級別内訳		
		1級	2級	3級
十和田市	843	159	469	215
三沢市	381	120	196	65
野辺地町	141	42	80	19
七戸町	160	35	95	30
六戸町	102	29	56	17
横浜町	46	13	24	9
東北町	186	45	105	36
六ヶ所村	77	27	36	14
計	1,936	470	1,061	405

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況：年7回 (第3水曜日)

※月1回開催予定であったが相談者なしのため、5回中止となった。

嘱託医：十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長、高松病院副院長

ア 相談件数 (令和4年度)

	総件数	再 掲		
		定期	随時	電話
実数	67	7	6	54
延数	187	7	26	154

イ 目的別利用状況（延数）

（令和4年度）

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	⑬ひきこもり	⑭その他	計
定期	2	1			1	2								1	7
随時	1		15		1					1				8	26

ウ 市町村別件数（延人数）

（令和4年度）

	十和田市	三沢市	野辺地	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	2		1	1	3					7
随時	24						2			26

（4） 訪問指導状況

（令和4年度）

事業区分	保健師（相談員含む）			その他の職員			合計		
	一般	社会復帰	計	一般	社会復帰	計	一般	社会復帰	計
実人数	16	1	17	0	0	0	16	1	17
延人数	36	1	37	0	0	0	36	1	37

（5） 普及啓発活動

ア 自殺予防

- ・心の健康づくりや高校における自殺予防教育を通して知識の普及・啓発を行った。
- ・高校における自殺予防教育の実施

実施日	対象学年・人数
令和4年7月11日	野辺地西高等学校 1年生 56名
令和4年9月20日	七戸高等学校 2年生 86名 1年生 88名

・保健所ホームページへの掲載、保健所の玄関やベランダ、七戸庁舎や合同庁舎にのぼり旗設置。自殺予防週間、自殺対策強化月間時に、保健所掲示板等を利用して普及啓発を実施。

イ その他

会議、研修会等で相談窓口一覧、心の健康づくりに関するパンフレット等を配布

(6) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの支援を行った。

ア 精神障害者家族会の状況

	家族会	活動内容等	作業所等運営 (名称)
家族会	とわだ家族会 (十和田市)	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・学習会 ・会員間の交流 ・作業所等の運営 ・当事者の会への協力 ・管内合同の学習・交流会の実施 	
	さつき家族会 (三沢市)		
	山ざくらの会 (六戸町)		
	つつじの会 (東北町)		つつじ作業所
家族懇談会	野辺地町精神障害者家族懇談会		
	七戸町精神障害者家族懇談会 →平成 26 年度活動停止		
	横浜町精神障害者家族懇談会		

イ 精神障害者家族会の活動及び支援状況

名称	回数	内容
上十三地区 精神障害者 家族学習交流会	0	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため中止。

ウ 回復者クラブの活動状況

名称	きざきのクラブ (三沢市)	ひまわりの会 (横浜町)
会員数	4名 ※令和4年から休止中	3名

エ 精神保健福祉ボランティアの活動状況

名称	会員数	活動内容
駒の会 (十和田市)	11名	○自主的な活動を継続している。 ・定例会の実施 ・「サロンおあしす」の実施 ・心のひろば「ルピナス」へ参加 ※平成10年4月に看護ボランティアとして組織化。 平成15年4月から精神保健福祉ボランティアとして登録。
さつき友の会 (三沢市)	9名	○自主的な活動を継続している。 ・「サロンひだまり」の実施 ・きざきのクラブ (回復者クラブ) の活動協力 ・青森県精神保健福祉ボランティア連絡協議会活動等 ※平成14年4月に組織化 ※令和4年から休止中

オ 民間団体

名称	内容
特定非営利活動法人 ワークハウスとわだ	十和田市や医療機関等関係機関と連携し、自主的な活動を行っている。

(7) 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議（所内）

期 日	開催内容	出席者
令和4年 6月9日	令和4年度精神保健福祉事業活動計画	保健総室長、次長、 健康増進課長、 健康増進課員
令和5年 3月10日	令和4年度精神保健福祉事業活動評価	

イ 関係者連絡会議

会議名	期 日	開催内容	出席者
上十三地域生活支援広 域調整会議	令和5年2 月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供「上十三地域の長期入院精神障害者の現状」 ・話題提供「事例の地域移行支援の進捗や課題」 ・意見交換「地域移行支援ツール(案)の運用についての検討」 	25名 病院精神保健福祉 士 相談支援事業所市 町村職員
上十三地域精神科救 急医療システム連絡 調整委員会	令和5年 3月8日	報告事項：精神科救急医療システムの運営状況について 情報提供： ア 精神通報に係る措置入院先の状況について イ 精神科救急医療システムの運用方法の再確認について 意見交換：コロナ禍での精神科救急医療システムの運用等について	16名 連絡調整委員会委員 （上十三医師会、救 急医療施設、警察 署、消防本部、地域 家族会） 市町村担当者
上十三地域自殺対策地 域ネットワーク連絡会	令和4年 12月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供「県・上十三地域の自殺の現状と『新たな自殺総合対策大綱』について」 ・情報交換『「生きることの包括的支援」としての自殺対策を進めるために」 助言者：青森県立保健大学 ヘルスプロモーション戦略研究センター長 健康科学部看護学科・大学院健康科学研究科教授 反町 吉秀 氏	管内市町村保健師、 事務職員等 計18名

ウ 市町村の自殺対策協議会等への出席 12回

十和田市6回、三沢市0回、野辺地町2回、七戸町1回、六戸町2回
東北町1回、六ヶ所村0回

エ ケース会議等

措置入院患者等が退院後も地域で治療を継続できるよう精神科医療機関でのケア会議に出席、処遇困難事例についてケース会議を開催した。

会議名	場 所	回数	備 考
精神障害者 ケース検討会	医療機関	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、関係者が退院後の治療の継続や生活支援について検討 ・関係者が処遇困難ケースの支援について検討
	市町村	0回	
	その他	1回	

5 難病関係

(1) 新たな難病の医療費助成制度

原因不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が定める疾病（指定難病）に対して、一定の認定基準を満たしている方を対象に、その治療に係る医療費の一部を助成し、医療費の負担軽減を図ることを目的とした制度である。

平成27年1月1日に「難病の患者に対する医療費等に関する法律（難病法）」が施行され、医療費助成の対象となる疾病（指定難病）が難病法施行前の56疾病から110疾病に拡大した。

さらに、平成27年7月からは306疾病、平成29年4月からは330疾病、平成30年4月からは331疾病、令和元年7月からは333疾病、令和3年11月からは338疾病に拡大した。

ア 特定医療受給者の状況（市町村別）

（令和5年3月末）

疾患 番号	疾患名	市町村								
		管内 計	十 和 田 市	三 沢 市	野 辺 地 町	七 戸 町	六 戸 町	横 浜 町	東 北 町	六 ヶ 所 村
	合計	1273	467	259	122	125	76	31	130	63
2	筋萎縮性側索硬化症	17	8	2	3	2			1	1
4	原発性側索硬化症	1	1							
5	進行性核上性麻痺	24	9	3	5	1	4		2	
6	パーキンソン病	158	57	28	12	21	2	6	25	7
7	大脳皮質基底核変性症	6	1	5						
8	ハンチントン病	1		1						
11	重症筋無力症	32	8	10	3	1	3	2	2	3
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	26	9	6	4	1	3	1	1	1
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー	8	3		3	2				
17	多系統萎縮症	13	6	2	1	1	2	1		
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	179	96	23	8	30	5		16	1
19	ライソゾーム病	1			1					
21	ミトコンドリア病	2	1	1						
22	もやもや病	6	3	1	1				1	
23	プリオン病	2			1				1	
26	HTLV-1関連脊髄症	1						1		
27	特発性基底核石灰化症	1	1							
28	全身性アミロイドーシス	4	1	1	1					1
34	神経線維腫症	2	1	1						
35	天疱瘡	1		1						
37	膿疱性乾癬（汎発型）	4	1	1	1				1	
40	高安静脈炎	4					2			2
41	巨細胞性動脈炎	1				1				
42	結節性多発動脈炎	2							1	1
43	顕微鏡的多発血管炎	9	2	2			1	2	1	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	2				1				1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	8	2	2	2			1	1	
46	悪性関節リウマチ	8	2	1	2	2	1			
47	バージャー病	4	1	2	1					
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	2							
49	全身性エリテマトーデス	63	21	16	5	4	6	3	4	4
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	21	6	3	2	3	1	1	3	2
51	全身性強皮症	18	4	4	3	3	1		2	1
52	混合性結合組織病	14	6	3	1		1		1	2

疾患 番号	疾患名	市町村								
		管内 計	十 和田 市	三 沢 市	野 辺 地 町	七 戸 町	六 戸 町	横 浜 町	東 北 町	六 ヶ 所 村
53	シェーグレン症候群	6	2	3					1	
54	成人スチル病	5	2	2						1
55	再発性多発軟骨炎	3		2					1	
56	ベーチェット病	13	4	2	3		2		2	
57	特発性拡張型心筋症	7	5						1	1
58	肥大型心筋症	8	4	1		1				2
60	再生不良性貧血	12	6			3		1	1	1
61	自己免疫性溶血性貧血	1			1					
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1					1			
63	特発性血小板減少性紫斑病	20	12	2	1	1	2		1	1
65	原発性免疫不全症候群	1			1					
66	IgA 腎症	16	4	9	1	1	1			
67	多発性嚢胞腎	15	7	4				2	1	1
68	黄色靱帯骨化症	8	3	2	2	1				
69	後縦靱帯骨化症	35	14	5	2	5	4	1	3	1
70	広範脊柱管狭窄症	4	1	1						2
71	特発性大腿骨頭壊死症	24	4	5	2	9			3	1
72	下垂体性ADH分泌異常症	4	1	1	1			1		
74	下垂体性PRL分泌亢進症	7	2	2	2				1	
75	クッシング病	1	1							
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	3	1		2					
78	下垂体前葉機能低下症	19	6	3	3		2	1	4	
84	サルコイドーシス	20	11	4	1	1	1		1	1
85	特発性間質性肺炎	20	4	2	5	1			4	4
86	肺動脈性肺高血圧症	7	2	1	3				1	
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6	3				1		2	
90	網膜色素変性症	14	5	2			2	1	3	1
93	原発性胆汁性胆管炎	10	3	2	1	2	1		1	
95	自己免疫性肝炎	3		1		1			1	
96	クローン病	75	21	15	8	12	7	3	5	4
97	潰瘍性大腸炎	155	53	34	12	8	16	3	23	6
98	好酸球性消化管疾患	1					1			
107	若年性特発性関節炎	2	2							
113	筋ジストロフィー	12	2	6	1				1	2
117	脊髄空洞症	2		2						
127	前頭側頭葉変性症	2		2						
145	ウエスト症候群	1		1						
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1		1						
158	結節性硬化症	1		1						
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）	5	1	1	1	1				1
171	ウィルソン病	3	1	1					1	
209	完全大血管転位症	2	1						1	
215	ファロー四徴症	2	1						1	
218	アルポート症候群	1								1
220	急速進行性糸球体腎炎	1				1				
222	一次性ネフローゼ症候群	23	6	9	4	3			1	

疾患 番号	疾患名	市町村								
		管内 計	十 和田 市	三 沢 市	野 辺 地 町	七 戸 町	六 戸 町	横 浜 町	東 北 町	六 ヶ 所 村
224	紫斑病性腎炎	1		1						
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	3	1	1					1	
266	家族性地中海熱	1	1							
271	強直性脊椎炎	4	4							
276	軟骨無形成症	1			1					
283	後天性赤芽球癆	1		1						
300	IgG 4 関連疾患	4	2		1					1
301	黄斑ジストロフィー	1		1						
304	若年発症型両側性感音難聴	2		2						
306	好酸球性副鼻腔炎	25	11	5	1	1	3		1	3
331	特発性多中心性キャッスルマン病	3	1		2					

イ 特定医療受給者の状況（年齢別）

（令和5年3月末）

疾患 番号	疾患名	年齢階層								
		合 計	0 ～ 9 歳	10～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳 以上
合計		1273	3	3	78	83	153	192	243	518
2	筋萎縮性側索硬化症	17					1		7	9
4	原発性側索硬化症	1								1
5	進行性核上性麻痺	24							7	17
6	パーキンソン病	158				1		5	28	124
7	大脳皮質基底核変性症	6							1	5
8	ハンチントン病	1							1	
11	重症筋無力症	32			1	1	2	6	11	11
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	26			1	5	6	9	4	1
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー	8					3	1		4
17	多系統萎縮症	13						4	3	6
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	179				1	3	9	24	142
19	ライソゾーム病	1					1			
21	ミトコンドリア病	2				1				1
22	もやもや病	6		1	1	1	1	2		
23	プリオン病	2								2
26	HTLV-1 関連脊髄症	1					1			
27	特発性基底核石灰化症	1							1	
28	全身性アミロイドーシス	4						1	1	2
34	神経線維腫症	2						2		
35	天疱瘡	1						1		
37	膿疱性乾癬（汎発型）	4			1			2		1
40	高安動脈炎	4					2		1	1
41	巨細胞性動脈炎	1								1
42	結節性多発動脈炎	2					1	1		
43	顕微鏡的多発血管炎	9							1	8
44	多発血管炎性肉芽腫症	2							1	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	8						4		4
46	悪性関節リウマチ	8						3	3	2

疾患 番号	疾患名	年齢階層								
		合計	0 ～ 9 歳	10～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳以上
47	バージャー病	4				1		1	1	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2				1			1	
49	全身性エリテマトーデス	63			5	9	16	9	12	12
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	21			2		3	3	6	7
51	全身性強皮症	18					1	5	5	7
52	混合性結合組織病	14			1		1	6	3	3
53	シェーグレン症候群	6					2	1	1	2
54	成人スチル病	5							4	1
55	再発性多発軟骨炎	3					1		1	1
56	ベーチェット病	13			1	1	3	1	4	3
57	特発性拡張型心筋症	7			1		2	1	1	2
58	肥大型心筋症	8			1			2	3	2
60	再生不良性貧血	12				1	2		5	4
61	自己免疫性溶血性貧血	1								1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1								1
63	特発性血小板減少性紫斑病	20				2	2	2	3	11
65	原発性免疫不全症候群	1						1		
66	IgA 腎症	16				2	4	6	2	2
67	多発性嚢胞腎	15			1	1	3	6	2	2
68	黄色靭帯骨化症	8						1	1	6
69	後縦靭帯骨化症	35					3	3	8	21
70	広範脊柱管狭窄症	4					2			2
71	特発性大腿骨頭壊死症	24			1		1	3	12	7
72	下垂体性ADH分泌異常症	4				3	1			
74	下垂体性PRL分泌亢進症	7			1	2	3	1		
75	クッシング病	1				1				
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	3					1		2	
78	下垂体前葉機能低下症	19		1	3	3	1	3	3	5
84	サルコイドーシス	20				2	3	5	7	3
85	特発性間質性肺炎	20						1	5	14
86	肺動脈性肺高血圧症	7				1		3		3
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6					1	1	2	2
90	網膜色素変性症	14					2	1	4	7
93	原発性胆汁性胆管炎	10					3	3	2	2
95	自己免疫性肝炎	3							1	2
96	クローン病	75			26	14	19	10	5	1
97	潰瘍性大腸炎	155			18	19	28	41	27	22
98	好酸球性消化管疾患	1						1		
107	若年性特発性関節炎	2				1	1			
113	筋ジストロフィー	12				2	7	2	1	
117	脊髄空洞症	2				1	1			
127	前頭側頭葉変性症	2								2
145	ウエスト症候群	1			1					
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1	1							
158	結節性硬化症	1			1					
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）	5			1		1	2		1
171	ウィルソン病	3					2	1		

疾患 番号	疾患名	年齢階層	合計	年齢階層							
				0 ～ 9 歳	10～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳以上
209	完全大血管転位症		2			2					
215	ファロー四徴症		2			1		1			
218	アルポート症候群		1			1					
220	急速進行性糸球体腎炎		1								1
222	一次性ネフローゼ症候群		23			4	3	4	6	2	4
224	紫斑病性腎炎		1					1			
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）		3							1	2
266	家族性地中海熱		1				1				
271	強直性脊椎炎		4		1	1				2	
276	軟骨無形成症		1							1	
283	後天性赤芽球癆		1								1
300	IgG 4 関連疾患		4						1		3
301	黄斑ジストロフィー		1			1					
304	若年発症型両側性感音難聴		2	2							
306	好酸球性副鼻腔炎		25				2	5	9	8	1
331	特発性多中心性キャッスルマン病		3					1		1	1

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

目的：難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。

ア 医療相談等

期 日	場 所	内 容	参加者数
令和4年12月20日 (火)	参集（市民交流プラザ「タワーレ」展示室）及びオンライン（ZOOM）によるハイブリット方式	講 話「病状が進行しても在宅で療養生活を送るために」 講師：青森県立中央病院 医療連携部 主任看護師 難病診療連携コーディネーター 町田 正子 氏 交流会「病状が進行しても在宅で療養生活を送るために」 助言者：青森県立中央病院 医療連携部 主任看護師 難病診療連携コーディネーター 町田 正子 氏 青森県立中央病院 臨床心理支援部 公認心理師・臨床心理士 難病診療カウンセラー 浅利 猛 氏	8名

イ 訪問相談（難病患者等訪問相談員による訪問相談）

疾患群	疾患名	実件数	延件数
神経・筋疾患	5 進行性核上性麻痺	2	2
	6 パーキンソン病	5	8
	11 重症筋無力症	2	4
	18 脊髄小脳変性症	3	4
合 計		12	18

ウ 上十三地域難病対策連絡会議

期 日	場 所	内 容	参加者数
令和5年2月 27日（月）	ZOOMによる オンライン	行政説明「上十三地域の難病患者の状況と災害時の支援について」 講話「難病患者の災害対策～個別避難計画作成に向けて～」 講師：青森県立中央病院 医療連携部 主任看護師 難病診療連携コーディネーター 町田 正子 氏 情報交換「医療依存度の高い難病患者の避難行動要支援者名簿の作成・管理について」	21名

(3) 保健師による訪問指導

(令和5年3月末現在)

	疾 患 名	実件数	延件数
神経・筋疾患	2 筋萎縮性側索硬化症	9	11
	5 進行性核上性麻痺	8	9
	6 パーキンソン病	11	11
	7 大脳皮質基底核変性症	1	1
	17 多系統萎縮症	1	1
	18 脊髄小脳変性症	9	10
	113 筋ジストロフィー	2	2
免疫系疾患	43 顕微鏡的多発血管炎	1	1
	46 悪性関節リウマチ	1	1
消化器疾患	96 クロウン病	1	1
	93 原発性胆汁性胆管炎	1	1
呼吸器系疾患	85 特発性間質性肺炎	3	3
合 計		48	52

(4) 重症難病患者在宅療養支援事業

ア 目的

人工呼吸器を装着して在宅療養を行っている重症難病患者の介護を行う者が、疾病、冠婚葬祭や休息等の理由により当該患者を在宅において介護することができない場合に、円滑に適切な医療機関に一時入院できるよう体制整備するとともに、やむを得ない事情により一時入院が困難な患者に対しては看護人を派遣することにより、患者の安定した在宅療養の確保と患者及びその家族の生活の質の向上を図ることを目的とする。

イ 利用回数

一時入院の期間は同一年度で患者一人あたり14日を限度とする。

看護人の派遣の期間は、患者一人当たり月7時間以内とし、利用回数は月2回まで分割することができる。

ウ 利用者数

利用者なし。

(5) 健康相談状況

面接及び電話による随時健康相談を実施している。また、新規及び継続の医療受給者証交付申請や変更等の手続きや受給者証交付時に、個別面接相談及び電話による相談等にも対応している。

(令和5年3月末)

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
108件	33件	75件

(6) 患者会の育成・自主活動支援

特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」は、会員の高齢化と新規加入者がいないことにより平成30年3月末で解散。

(7) 関係機関との連携

- ・ ケースカンファレンス：1回（後縦靭帯骨化症：在宅療養に向けて）
- ・ 関係機関連絡：医療機関ソーシャルワーカー、居宅介護支援事業所職員、市町村保健師等と個別ケースの連絡等、必要時関係機関と情報共有して支援した。

(8) 災害基本法に基づく「避難行動要支援者名簿」作成のための難病の特定医療受給者に関する個人情報の提供等について

依頼のあった4市町（三沢市、七戸町、六戸町、東北町）に提供した。

6 石綿（アスベスト）に関すること

(1) 普及啓発

環境再生保全機構により送付されたポスター、リーフレットを保健所内に掲示し、住民に対しての周知を行った。

(2) 相談・健康被害救済申請受付

石綿（アスベスト）関連事業場周辺にいた住民の健康不安に対応するため、健康に関する問題について相談を受け、石綿による健康被害を受けた方が生活・療養等の補償が受けられるように、被害救済給付申請に係る情報提供を行った。

《相談受付実施状況》

- ・健康相談 0件
- ・給付申請 0件

7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉包括ケアシステムを構築することが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実に向けた取り組みに関して支援を行っている。

(1) 上十三地域橋渡し連携・パスネットワーク委員会

本委員会は、上十三地域の保健、医療、介護を必要とする状態の方が、住み慣れた地域で、最後まで自分らしい人生を送るために適切なケアやサービスが受けられるよう、退院調整や情報提供を行い、また、地域で療養されている方が医療機関に入院する場合にもスムーズに移行できるように、関係機関（医療機関と介護サービス事業者、行政など）の地域連携担当者が連携を推進し、調整を行うことを目的としている。平成25年度から十和田市立中央病院が事務局となり、委員会を開催し、当総室は委員として参加している。

ア 委員 19名

委員の所属は、十和田市立中央病院、十和田第一病院、公立野辺地病院、公立七戸病院、高松病院、三沢市立三沢病院、六戸町国民健康保険診療所、メディカルコート八戸西病院、居宅介護支援事業所えがお、十和田市高齢介護課、十和田市健康増進課、上十三保健所、十和田市東地域包括支援センター、十和田市北地域包括支援センター、十和田市西南地域包括支援センター、七戸町地域包括支援センター、六戸町地域包括支援センター、東北町地域包括支援センター

イ 会議出席状況

期 日	場 所	内 容
令和4年6月9日 ※令和4年11月4日の第2回は欠席	十和田市立中央病院 本館3階本会議室	コロナ禍における各医療機関や事業所での地域支援について

(2) 介護予防事業及び市町村支援

延べ13回（十和田市2回、野辺地町1回、七戸町1回、六戸町1回、東北町8回）、各市町村の地域ケア会議等に出席し支援した。

※認知症地域連携体制推進事業（認知症地域支援検討会議）については、認知症疾患医療センター事業と重複することから、令和2年度で事業終了となった。

(3) 上十三圏域在宅医療・介護連携推進事業

入院している要介護（要支援）状態の方が医療機関を退院する際に、医療機関とケアマネジャーとの間で着実な引継を行うために、医療機関、居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所のケアマネジャー、市町村（地域包括支援センター）が協議を重ね、平成 29 年 3 月に退院調整のためのルールを策定し、それ以降モニタリングを実施している。「あおり高齢者すこやか自立プラン 2018」の目標値であった退院調整率 80%を達成したことから、令和 2 年度以降（上十三保健所は令和 3 年度以降）、モニタリング調査を実施しないこととしている。

会議名	期 日	場 所	内 容	出席者
上十三圏域在宅医療・介護連携推進事業市町村担当者等会議	令和 5 年 2 月 3 日	オンライン (ZOOM)	1 報告 ・上十三保健所における在宅医療・介護連携推進事業の進め方について ・令和 3 年度上十三圏域における退院調整ルールモニタリング調査結果について 2 情報提供 ・「青森県における在宅医療・介護連携推進事業について」 高齢福祉保険課 技師 音喜多祐未氏 3 情報交換 ・在宅医療・介護連携推進事業の実施状況 ・認知症情報連携ツールの配布・活用状況について	管内市町村在宅医療・介護連携推進事業担当課、地域包括支援センター職員当計 18 名

8 人材育成

(1) 新任保健師研修

「青森県保健師活動指針」に基づき、行政に働く保健師の役割を意識付けするとともに、地域保健活動を展開するための基本的な意識及び技術を習得することを目的として、管内市町村及び上十三保健所に在籍するキャリアレベル A-1 から A-2 までの保健師を対象に研修を実施した。(キャリアレベルは、青森県保健師活動指針(2019年3月改訂)43ページに記載の「青森県保健師の標準的なキャリアラダー(専門能力)」に基づくものである。)

ア 対象者

- 1年目保健師：十和田市2名、三沢市2名、七戸町1名、六ヶ所村1名、
保健所1名
- 2～4年目保健師：十和田市2名、三沢市2名、六戸町1名、横浜町1名、
東北町1名、六ヶ所村2名、保健所3名
- トレーナー保健師、プリセプター保健師、指導保健師

イ 実施状況

回数	期 日	内 容	参加者数
1	令和4年 12月5日	○1回上十三保健所新任保健師研修 ・講義1 「保健所の業務について」 ・講義2 「福祉事務所と児童相談所の業務について」 ・講義3 「新任保健師に求められる地域保健活動での保健師の役割」 ・意見交換 「実践活動から地域を視ていくためのポイント」 ・情報交換 「保健師として活動してみて、地域診断の進め方」	14名
2	令和5年 3月3日	○2回上十三保健所新任保健師研修 <第一部> ・事例検討 <第二部> ・講義「精神障がいを抱えながら子育てをしている親への支援」	第一部 28名 第二部 86名

(2) 保健所保健師の育成支援

保健師の個々の能力に応じた人材育成を推進することを目的に、青森県保健師活動指針(改訂)及び「人材育成支援ツール」に基づき、キャリアレベルの到達状況等を確認し、人材育成を図った。

(3) 新任等保健師育成支援

保健所及び市町村の若手の保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援し、「地域全体を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることにより、地域保健活動を活性化することを目的として実施した。

実施市町村（青森県新任等保健師育成支援事業）

市町村名	対象	トレーナー保健師	実施日数 (評価会等含む)
十和田市	1年目 2名	泉館 三枝氏 大水 美保氏	14日 14日
三沢市	1年目 2名	北館 祐子氏 平塚 美加子氏	15日 15日
七戸町	1年目 1名	工藤 美子氏	16日
六ヶ所村	1年目 1名	北山 つね子氏	12日
保健所	1年目 1名	瀬川 節子	15日

(4) 保健師連絡会議

管内保健師の資質の向上と保健師間の情報の共有を図り、連携を強化して管内の保健活動を推進することを目的に開催した。

回数	期日	内容	参加者数
1	令和5年 1月26日	※オンライン開催 ①情報提供「管内市町村の人材育成実施状況について」 ②情報交換「保健師の人材育成について」	市町村 21名 保健所 3名

(5) 管理栄養士学生実習

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。